

2025 電波伝搬実験

7L2WVR 久保木尊史

「よし！今年の移動地は毛無峠に決めた！」

2025年4月、悩みに悩んだ今年の電波伝搬実験の移動地。

色々考えて、群馬と長野の県境、毛無峠に決めた。

ここは渋峠の南西約9キロにある、群馬と長野の県境にある峠だ。

昔は人や車が行き来していたが、今は群馬県側は通行止めで、長野県側からしか来られない。

眺めは絶景だそうで、300mほど登った毛無山山頂はさらに360度の絶景だそうだ。

ここなら関東まで、問題になる高い山はなさそうだ。また御嶽山方面も近くの破風岳をクリア出来ればなんとかなりそう。四阿山や浅間山も影響ないだろう。

各局の移動予想地との距離や途中の障害物（高山）の有無を確認して、ゴールデンウィークに下見に行くことにした。天候の予報から連休に入った日曜日（4月27日 ALLJA の日）に決める。

前日の26日（土）、とりあえず念のため通行止めの情報を検索した。

ルートは群馬県の長野原町から西に万座温泉まで行き、万座から県道466号線で長野県に入る。そして長野県の県道112号を南下して毛無峠だ。

群馬県の情報、、、通行止め情報無し。万座界限は4月23日開通。

長野県の情報、、、県道112号大前須坂線（万座道路）

高山村老ノ倉～毛無峠

2025年5月21日15時解除予定

えっ？

112号、冬季閉鎖中？

5月21日解除予定、、、つとすることは、ゴールデンウィーク、ダメじゃん！調べて良かった。

もし知らずに行っていたら、冬季閉鎖ゲート前で立ち尽くしていただろう。

しかも、5月21日に解除予定、、、

ということは、電波伝搬実験の4日前に冬季閉鎖が解除？

こ、れ、は、、、ヤ、バ、い、ぞ。

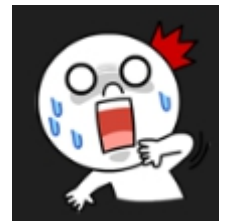
解除して間もない時期の早朝に通行。タイヤはノーマルタイヤ。

除雪の雪や残雪がどういう状態か分からないし、標高は1900m近い。早朝は凍結の危険もある。

現地の状態が分からないで本番当日の早朝に通行するのは無謀だ。

毛無峠の駐車場も雪があるかも知れないし、電波が出せるかどうか分からない。

仕方がない、毛無峠は諦めよう。



という訳で、移動地をもう一度探すことにした。

移動地を決めるにあたり、何か所か候補地を上げていたので、それに加えてグーグルマップで探すことにした。

探索エリアは群馬県西北部。嬬恋村周辺を重点的に探す。

標高が高く視界が開けていて、高山（ここでは浅間山や四阿山など）が障壁にならないこと。

嬬恋村は標高も高く、高原キャベツで有名。ただ、西に四阿山、南に浅間山があり、関東方面にはなかなか厳しい。浅間山や四阿山（あずまやさん）も標高は高いが、中腹まで登れる道路が無い。

散々探して結局、野反湖（のぞりこ）に決めた。

ここは以前、一度行ったことがある。南に谷が伸びており、この谷が進入路になっている。

ほとんど山を迂回することなく進入出来るので、関東方面に対して開けているだろう。

浅間山も関東方面に対して障壁になることも無い。

また、御嶽山に対しても、草津白根山と四阿山、この二つの山の南スレスレを通るルートで、

この二つの山を回避出来れば繋がる。とにかく下見に行ってみよう。

ゴールデンウィーク中の5月1日（木）にバイクで行く予定で、友人のJL1LGX局を誘った。朝5時出発で、八高線沿いに北上する。

標高1500mほどの野反湖は、まだあちこちに残雪があり、残雪の高さは1mを越える。

ここは毎年、半年近く雪に閉ざされる。野反峠周辺は、ノゾリキスゲの群生地。初夏には一面黄色い花で埋め尽くされるそうだ。

写真中央の谷の方向が北。

空の青と湖の碧がとても綺麗だ。

駐車場も広くて、5月下旬ならそんなに混まないだろう。

電波伝搬実験の当日も晴れたらいいな。

家から一般道で片道5時間半。

当日の朝は相当早く出発しないと間に合わない。

そんなことを考えながら帰途に就いた。



ゴールデンウィーク後、JL1LGXとのラグチュー時、

WVR「実験当日、相当早く出ようと思ってる。LGXは早くても大丈夫？」

LGX「えっ？ 僕も行くの？」

WVR「うん、行くよ。」

LGX「え〜、下見だけだと思ってたよ。僕は行かなくて大丈夫でしょう？」

WVR「行き帰りとか、車だから話し相手がいないとつまらないよ。一緒に行ってよ。」

という訳で、半ば強制的にJL1LGX局も同伴することになった。

電波伝搬実験前日の土曜日は会社の出勤日。一日中仕事だ。

帰ってから準備しては間に合わない。

なので金曜日の夜に無線機やバッテリー、同軸ケーブル、マイクその他諸々を準備する。

結局その夜、準備に午前2時半までかかった。2時半過ぎに寝て5時過ぎに起床し会社へ行く。

土曜日の夜、会社から帰宅し、機材を車に載せ、寝たのは10時半。

予定では午前0時まで寝て、0時に起床し1時にLGX宅に迎えに行く。

目標、午前1時出発だ。

『いま君がこの雪に気付いてないなら〜・・・』槇原敬之氏の「北風」で携帯の目覚まし鳴った。午前0時、目覚ましを止めて起きる。

ゆっくりと身支度をして身体を馴染ませる。

さあ、今日は電波伝搬実験当日、忘れ物が無いように頭でチェックする。

特に、バッテリー、電源コード、基台とケーブル、無線機、アンテナ、マイクとコード、筆記用具、工具類、測定器、これらは忘れたら電波が出せないなので、しっかりチェック。

もしもの時を考えて、FT-817NDと電池、それとDJ-G7も用意した。

天気予報は雨。傘とカップも用意。気温も今日は低いらしい。野反湖は標高が1500mを越えるので確実に寒い。冬用の服装で良いだろう。日中下界が暑くなったら上着を脱げばよい。

昨年も実験当日とても使いやすかった専用ログ、
 今年も先だって伝搬実験専用のログを作った。
 ログはコントロール局を先頭として、野反湖から
 遠い局順で並べてある。
 記入するのは、時間、互いのRSレポートのみ。
 野反湖からの距離を GoogleMAP で調べて載せてある。
 また、忘れやすいのは筆記用具。
 これが無いとログに記入出来ない所以要注意。
 また、この紙を固定するバインダーも必要。
 今年は車なので荷造りが楽だ。

7L2WVR/1	2025年5月25日	PM06H0	群馬県吾妻郡中之条町入山・野反湖	FT-991AM	S0W	1/2.8モビホ
(標高約1563m)	JST	His	My	北緯:36度41分32秒071	東経:138度39分20秒318	16001H
JM1LZT, JA1RIZ/1				東京都八王子市 国分寺台4丁目1番地		123.9km
高山さん、久保田さん				1002 (約230m) 1/2.8モビホ、6w 八木		
JA1VWB/2				静岡県伊豆市 大井町 大井町 大井町		191.75km
本村さん				1/2.8モビホ		
JR2CTR/0				長野県上田市 上田市 上田市 上田市		137.51km
三田さん				1/2.8モビホ		
JE1VGB/1				東京都武蔵野市 武蔵野市 武蔵野市 武蔵野市		116.49km
岸さん				3/8.8モビホ		
JJ1SXA, SXB/1				栃木県矢野村 八ヶ岳大台(約1,264m)		106.08km
池さん				1/2.8モビホ		
JK1JWV/1				埼玉県入間郡越生町 黒山展望台(約600m)		98.5km
岸田さん				1/2.8モビホ		
JA1WOB/1				埼玉県秩父市 秩父市 秩父市 秩父市		82.24km
池田さん				1/2.8モビホ		
JK1RYF/1				群馬県吾妻郡中之条町 中之条町 中之条町 中之条町		11.27km
杉田さん				1/2.8モビホ		
JK1GBE						
西田さん						
JJ1DLU				三田さん	7h	8h
JA1SHD				村山さん	天気	
JK1SBK				角村さん	気温	
JE1PLR				三浦さん	風向き	

午前0時半過ぎに JL1LGX 局に LINE を送る。
 すぐに返事が帰って来て、双方とも起きていることを確認した。
 以前、二人でツーリングに行く朝、僕が大寝坊をしたことがある。
 早朝、目が覚めたらツーリングの出発時刻だった。
 それ以来、出発時間までに僕から連絡が無い場合は、電話で起こしてくれと LGX 局に頼んである。

家を出る時にもう一度 LGX 局に、これから出る旨を LINE して、いよいよ出発。
 数分で LGX 局のご自宅にお迎えに上がる。
 無事 LGX 局と合流し、午前1時、いざ出発！
 近くのインターから高速に乗ってスイスイと、、、
 という訳にはいかない。
 今回は交通費の節約のために往復すべて一般道。
 貧乏暮らしはなかなか辛い。

国道16号から瑞穂で八高線沿いに進路を取る。
 飯能、高麗川、毛呂山、越生を抜け、小川から寄居で国道254号に入る。
 児玉を過ぎて「長浜(北)」の交差点を右折し、県道131号で国道17号に移る。
 そのまま17号を快適に飛ばし、いや、安全運転で。

17号が烏川沿いに進むようになると国道18号との分岐は近い。
 国道18号との分岐の標識(長野、安中方面)が出たら、左折ラインに入る。
 そのまま立体交差で左折し、西に進路を取るとすぐに烏川を渡る。
 橋を渡るとすぐ、橋のたもとに信号があるので、ここを右折。国道406号に入る。
 この信号は通過してしまいやすいので要注意。



途中、倉淵にて、「道の駅くらぶち小栗の里」の手前のセブンイレブンで食べ物を買い込む。
 ここを過ぎるとルート上にはコンビニが一軒もない。
 国道406号から県道377号に入り、トンネルで川原湯温泉駅西近くに抜け、八ッ場ダムを渡って、道の駅八ッ場ふるさと館で小休止。
 そこから県道376号に入り、長野原草津口で県道292号、そして国道405号で野反湖を目指す。

標高1500m近くになると霧雨とガスが出てきた。
 現地は濃いガスの中かな、と話しながら進んでいく。霧雨の中でのセットアップを覚悟した。

1500m を越えると両側木立の道から突如視界が開ける。

左に広い駐車場、ここは登山者専用の第一駐車場だ。目的の野反峠駐車場はこの一段上。

第一駐車場を過ぎると左上に建物が見えてくる。ここが目的地、野反峠にある休憩舎・花の駅。

左側、野反自然休養林の石碑のある駐車場に入る。午前5時22分、到着。

予想していたよりガスは薄い霧雨が降っている。

一枚目の写真の左側が関東方面、右が日本海方面。

奥の建物が野反峠休憩舎・花の駅。



計画では車の後ろ側を南に向け、ハッチバックを

開けたままで、その下にイスを置き、トランクに

無線機をセットして、外で行う予定だったが、

空気の流れは南から北。霧雨が吹き付けて来る。

これではハッチバックを開けられない。

写真の白い車と同じに南向きで駐車した。

この駐車場は半分より西側に電線がある。

花の駅とその左にある公衆トイレ用の電線だ。

これが丁度駐車場の南側に張られていて、無線に

影響しそうな感じ。電線は駐車場の西半分をカバー

しているので、電線を回避して東半分に停める。



2枚目の写真は野反湖方向。

視界は200メートル程度で野反湖も見えない。

とりあえず霧雨の中、セットアップを開始する。

JL1LGX 局が準備を手伝ってくれる。

彼は移動運用の経験が豊富なので手際が良い。



JA1RIZ 局から頂いたマグネット基台を付ける。

コメットの1/2λモビホ、HR50のエレメントを

組み立てる。

マグネット基台に取り付け、VNAでSWRを

測ってみる

共振周波数、50.050付近。う～む、

普通は50.350付近なんだけどな。

でも50.240でSWRが1.35なので、オッケー。

多分、今まではカメラの三脚に付けた基台や

バイクに付けた基台だったので、共振周波数が

高めだったのだろう。

車の屋根に取り付けるのが通常的使用方法なので、

これが本来の状態なのだと理解する。



雨なので外で運用が出来ない。車内は狭いしな～。

とりあえず後ろの座席でセットしたがやりづらい。

ハンドマイク2本、ボーカルマイク2本を持参した。

でも車の中ではボーカルマイクは無理だなあ。

ここは素直にハンドマイクでやろう。

後ろの座席での運用もやりにくいからパス。

運転席での運用に切り替える。

ちょうどダッシュボードの上に FT-991AM が
セットできた。運転席の窓から同軸を引き込み、
991 に接続。後ろの座席にバッテリーを置き、
電源ケーブルを持ってくる。
ハンドマイクを取り付け、時計を置いたらセット完了。
この状態でワッチを始める。

しばらくワッチしていたが誰も入感しない。

「これは移動地の選択を間違えたか？」

内心焦りながら、車を駐車場内でゆっくりあちこち
移動させる。ちょっとした場所の違いで入ったり
全く入らなかったりするから、駐車場のどこで
やるかが大事だ。

そうこうしているうちに JA1RIZ/1 局と JK1JWV 局の
声が聞こえてきた。

QSO が終わったタイミングで JWV 局を呼ぶが、
応答が無い。こちらの電波、出てるのかな？

991 はノパソ用のバックに入れて、座席から落ちない
ようショルダーベルトをヘッドレストに引っかけて
運んできた。なので衝撃が加わることは無かった。

Pメーターはしっかり 50W が出ている。

故障した訳じゃないだろう。

またしばらくワッチしていたら、JWV 局と WOB 局の交信が入ってきた。

すぐにブレイクをかける。すぐに JWV 局からコールバック。今度は届いた。内心ホッとした。

その後、コントロール局の JM1LZT 局と JA1RIZ 局とも繋がり、これで実験開始を待つばかり。
気温も低めなので、トイレが近くなる。LGX 局に「こちらに声がかかったら出ておいてね～」と
頼んで、実験まで数回トイレに歩いて往復した。

実験が始まり、各局の声が聞こえる。

しかし、御嶽山移動の JR2CTR/0 の声がまったく聞こえない。

やっぱダメか？ いや、きっと、この駐車場のどこかには受信出来る場所があるだろう。

そう思い、車をゆっくりとバックさせる。

5m~6m バックさせたあたりで CTR 局の信号が入ってきた。

弱いけどハッキリと了解出来る。ここに車を停める。

「どなたか CTR 局を呼ぶ局はいますか？」の JK1RYF/1 局の合図で CTR 局を呼ぶ。

WVR「JR2CTR/0、こちらは 7L2WVR/1。取れますか？どうぞ。」

CTR「7L2WVR/1、こちらは JR2CTR/0。51 です。どうぞ。」

WFR「了解、こちらからも 51 です。ありがとうございました。」

CTR「了解、ありがとうございました。」

よしっ！ 交信成立。

電波は波なので、その波長で微妙に入感する場所が
違ったりする。ちょっと車を移動させるだけで入らな
かった局が入るようになる。

だが普通は他の車がいるため自由に移動は困難だ。

しかし今日はまだ5月、野反湖に来る人はあまりない。

その上今日は雨なので、余計来る人は少ない。



とてもラッキーだった。

これが7月の繁忙期などは観光客で駐車場は一杯になるため、この様に車を移動させてのワッチや交信は出来なかっただろう。

その後、コントロール局 JM1LZT/1 局の指示に従って各局を呼ぶ。

一番遠い JA1VWB/2 局とも無事交信出来た。伊豆から群馬の山奥までよく電波が届く。

やはり 5/8λ のアンテナの威力はすごいな。途中、愛鷹山が盾になり、富士山の東斜面ギリギリをかすめて、甲武信ヶ岳から破風山の尾根や諏訪山などが盾になるがビクともしない。

JE1VGJ/1 局とも交信成立。深沢展望台は北側に奥多摩の山々や奥武蔵の山々、また武甲山が盾になっているため心配だったが無事交信できた。

JK1JWV/1 局、黒山展望台は S メーターこそ振らないが、十分な音圧で入って来る。

途中、堂平山が盾になっていて、榛名山の西斜面をかすめているが問題ない。

JA1WOB/1 局、さすが皇鈴山展望台、強く入って来る。ここは途中、榛名山が盾になっているがまったく影響しない良いロケーションだ。

JK1GBE/1 局、奥多摩周遊道路の月夜見第二駐車場、鷹ノ巣山や御荷鉾高原一帯が盾になるが、駐車場の標高が高く、まったく問題ない。

JK1RYF/1 局、渋峠。ここは野反湖から西南西に 11 km の地点、さらに国道国内最高地点だけのことはあり、ほとんど見通し距離のため、お互い 59+ で入感してくる。

JJ1SXA/1, SXB/1 各局、八方ヶ原・大間々台、残念ながら、入感無し。

八方ヶ原の西側には 1700m 級の高原山が聳え、そのほかにも、高難山、湯泉ヶ岳など、野反湖との間には日光から上越国境の、2000m 級の山々が連なっている。
なので、これは仕方ない。また来年。

電波伝搬実験を終え、すぐに撤収に入る。

実験に入ってから雨も止み、野反湖も

ハッキリ見えるようになった。

片付けも LGX 局が手伝ってくれた。

最後に二人で今日の記念に写真を撮った。

午前 11 時に帰途につき、来た道を戻り、

午後 5 時少し前に帰宅。

各局、ありがとうございました。

コントロール局の JM1LZT 局、JA1RIZ 局、

ありがとうございました。

また、同伴して手伝ってくれた JL1LGX 局、本当にありがとうございました。

来年はどこに行こうか。来年もよろしくね。

走行距離、往復 345 km でした。



Thank you for FB QSO. See you again in the Sky. 73 and 88 !

7L2WVR